

苦情窓口案内

施設に対するご意見、ご要望は、相談員までお気軽にご連絡ください。

相談員・・・平野、小方
電話:052-217-8715

7月～9月の苦情件数:2件

- ・領収書の郵送の着/未着について・・・対応済み
- ・請求書明細説明不足について・・・対応済み

また、外部の連絡先として以下の窓口もあります。ご参考にしてください。

- ・愛知県国民健康保険団体
介護サービスに関する相談
電話 052-971-4165
- ・名古屋市
健康福祉局高齢福祉部介護保険課指導係
電話 052-972-2592

技能実習生スカイプ面談

8/19にインドネシアの4人の技能実習生とスカイプ面談を実施しました。本来なら今年度の7月から4名の技能実習生が当施設で働く予定だったのですが、新型コロナの影響で日本への入国ができず、延期となっています。

いつ入国が可能になるか見通しが立たない中、技能実習生の方たちに職員の顔や雰囲気を知ってもらおうと実施しました。技能実習生たちは、「日本語の勉強を頑張っている」「早くゆうあいの里へ行きたい」と話され、ゆうあいの職員も「勉強頑張ってください」「一緒に働ける日を楽しみにしています」と伝えました。



職員コラム

2月に子供が生まれました。男の子で2400gで生まれ、はじめはミルクを飲むこともおぼつかなかったのですが、今ではすくすくと育ち7500gに成長しています。新しい家族が増え、よりいっそう仕事に気持ちが入るようになりました。子供の日々の成長は早く、驚かされる事ばかりです。子供のいる生活は非常に刺激的で、泣いているときも「なぜ泣いているか？」と考えながら接しています。オムツやミルクを飲ませるにも子供にとって良い姿勢や飲む間隔、オムツ交換の時は自分の手が冷たくないか？おしりふきタオルは温かいのか？常に考えて育児を行っています。そんな風に育児をしていく中で、いつも介護でやっているオムツ交換や衣服の着脱、相手の気持ちを考え行動する事など、育児に活かせることが多くある事に気づかされました。子供の成長のように、私も介護の知識を深め成長できるように努力をしています。



ゆうあい通信 2020年10月(第18号)

編集・発行 社会福祉法人 大同福祉会 特別養護老人ホームゆうあいの里大同

〒457-8512 名古屋市南区白水町20番地 TEL052-612-3030(代表) FAX052-612-3076

編集後記

前年度の終わりにから新型コロナウイルスの流行が始まり、未だ終息の兆しは見えていません。ゆうあい通信でも4月、7月、10月と毎号新型コロナについての記事を掲載しました。次の1月号でも掲載することになりそうで、今年度はまさに新型コロナの年になりそうだなと思います。1月号では少しでも明るい記事が書けると良いなと祈りながらも、感染対策については楽観視することなく続けていこうと思います。

感染対策で人の出入りを制限している現在の状況下で、施設の情報を発信するゆうあい通信の重要性は増えています。そのことを心に刻み、施設と読者様を繋ぐ大切な広報誌として作成していますので、よろしくお願いします。

ご寄付ありがとうございました

2020.4月から9月受付(順不同)

- ・北澤 雄二様
- ・日高 洋子様
- ・竹内 伸二様様
- ・日高 美鈴様
- ・村上 朱美様

ゆうあい通信

2020年10月(第十八号)



【理念】

人の心を大切にし、皆様に安らぎと感動を提供することが、私たちの使命です。

【基本方針】

- ・利用者様の尊厳を守ります。
- ・安全を最優先します。
- ・質の高い介護サービスを提供します。
- ・地域社会に貢献します。

新型コロナウイルス感染防止

7月から感染者数が急増し始め、愛知県は8月6日から24日までの期間、県独自の緊急事態宣言を発令しました。当施設では感染者数急増の事態を受け、面会を中止すべきかどうか迷いましたが、玄関先で飛沫防止シート越しに面会するという、制限付きの面会を継続しています。面会のご家族様の検温を実施し、職員が対応できる9時～16時半までを面会時間とさせていただいております。また、面会の回数は月に2回、面会可能人数は一度に2人までというルールも継続中ですので、ご協力お願いいたします。

世間では「Go to Travel」や「Go to Eat」等の外出を促すキャンペーンが実施されています。しかし、高齢者施設で働く職員として、これらのキャンペーンに動かされることなく、不要不急の外出は控えています。施設内でも様々な制限をして、新型コロナウイルス感染防止のため、頑張っております。ご家族様にも何卒ご理解、ご協力をお願いいたします。



防災訓練

8/31に防災訓練を行いました。今年は地震、津波を想定した訓練です。緊急地震速報が鳴ってから地震が発生し、その後津波警報が出てからの一連の動き方をトレーニングしました。

災害発生時に誰がどう動けば良いかが書いてある「アクションカード」を用意し、そのアクションカードを見ながら、実際に地震が起きた時に使う道具(ヘルメット、おんぶ補助道具等)も使い、代表者が実演し、他の職員はその動きを見るという形式で行いました。実際に使う道具や、地震、津波発生時どのように動けば良いかを自分の目で確認し、取るべき行動が具体的にイメージできました。

また、津波が起きた場合に大切なことは、上階への避難です。災害に対応する物品は3階に保管することで、津波が起きた場合に物品の移動に時間を取られることなく、入居者の避難に集中できるようにしています。

災害はいつ起きるか分かりません。だからこそ、いつ起きても対応できるよう日頃の備えが大切です。これからも災害に備えて様々な対策を行っていきます。



食事時の姿勢保持の取り組み

食事の正しい姿勢は、椅子に深く座り地面に両足をつけて前傾姿勢になることで、誤嚥防止にもつながります。車椅子のままでは足が床に着かず不安定な姿勢の為、椅子に移って頂く事を推奨しています。椅子への移動は足に少しでも力が入る入居者を対象に行っています。椅子へ移る時はまずはご自分の足に力を入れていただき、職員の介助で立ち上がります。その後椅子に深く座り、床に足を付いているか確認します。つかない場合は足台の設置も行います。ご自分の足に力を入れる事で下肢筋力低下防止、また椅子上での姿勢保持を行うため体幹のリハビリにもつながります。はじめは下肢筋力に不安がある入居者の方もありましたが、繰り返し椅子への移動を行う事でご自分の力で立ち上がることが出来るようになったり、椅子上で姿勢を崩

さずに食事をする事ができています。また、椅子に座って足をしっかり地面につける安定感のある姿勢で食事することは、食事の満足感の向上にも繋がると思います。入居者の健康面と生活の質の向上面で大切な取組になっていると思いますので、これからも続けていきます。



衣替え

施設では、6月と10月に衣替えを実施しています。

今回は9月末までに冬物を持参して頂き、現在順番に夏物と入れ替えています。100名の入居者の衣類を洗濯・管理する為、上着・ズボン・肌着・靴下は各5枚を定数とし、誰の物かわかるように記名して頂いています。

次回の面会時より、衣替えが終了した方には夏物を持ち帰って頂きます。また、冬物の持参が遅れている方は、早めにお持ち頂くよう再度お願い致します。

皆様のご理解・ご協力により衣類管理が円滑に行えることに感謝いたします。

《お願い》

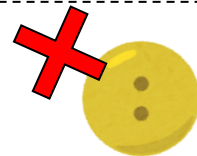
【読みやすい表示】

- すべての物に名前記入
- 黒系の衣類には
白い布に名前を記入して縫い付けてください。



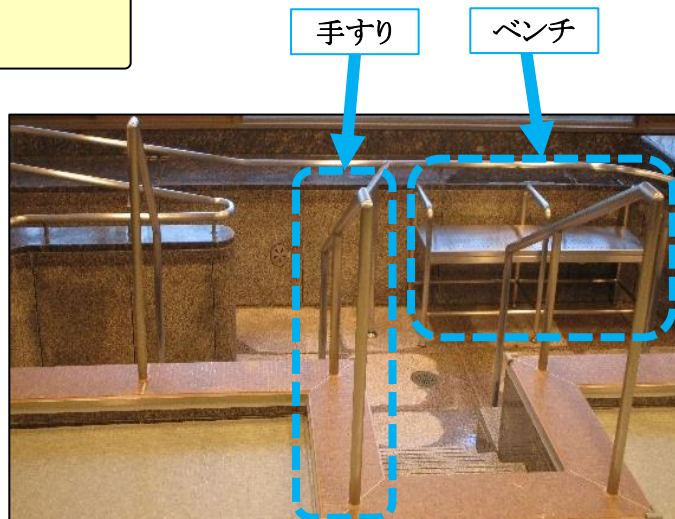
【誤飲防止策】

ボタン、ビーズ等の飾りが付いた服は避けてください。



一般浴室改修

9月に一般浴室の改修工事を行いました。主な改修内容は、転倒防止のために滑りにくい、クッション性の高い床材へ変更、浴槽内のですりの増設やベンチの設置、シャワー水栓等の更新です。浴室全体が明るく綺麗になり、床が滑りにくくなって歩きやすく、浴槽に手すりが付いたことで安全に湯内を移動できるようになりました。当施設も設立から20年ほど経過し、それに伴い設備が古くなってきており、これから改修が必要な箇所が出てくると思います。その際は、入居者にとってどうすればより安全、快適なものになるかという視点を常に持ち、改修を行っていききたいと思います。



キーパーソン(家族の代表)へのお願い

緊急時や日常的なご家族への連絡は、キーパーソンに電話をします。施設からご家族への連絡には一刻を争うような場合もあります。ご家族に連絡がつかず、困ったこともあります。そうならない様、日頃から電話に出られるようにお願いをしています。キーパーソンはご家族の窓口です。介護や医療に関して方向性を決める時は、家族間で相違がないように、意向を一つにまとめていただく必要があります。キーパーソンの方が入院等で連絡がとれなくなる場合は、予

め他のご家族の連絡先を教えてください。今後ともご家族との連携をスムーズに行いたいと考えておりますので、ご協力お願いします。



7月～9月の行事風景



今年も夏を感じるイベントを企画・開催しました。

7月 セタイイベント



7月7日
入居者一人ひとりがそれぞれ願い事をこめて短冊を書いて、大きな笹に飾りつけました。願いが少しでも叶う一年になりますように・・・

8月 料理イベント



スイカ割り

スイカ割りイベントを開催しました。大きくて固いスイカは簡単には割れずに皆様かなり苦戦しておられましたが、見事に割れたスイカをおやつに提供しました。とてもおいしかったです。



9月 喫茶、料理イベント



毎週水曜日は温かいコーヒーや甘くて美味しいケーキなどを提供しています。

日常のレクリエーション



紙コップすくいゲーム



テーブルに散らばった色のついた紙コップをラップの芯を使ってすくいあげ、大きなバケツやカゴの中に入れていくゲームです。5～6人で協力し合いながら楽しめ、手首や腕・肩など筋力維持にも効果があります。Mさん「手で紙コップを持つよりやっぱり難しいな～でも皆で盛り上がり楽しかった」とおっしゃられ最後まで集中して楽しんでいただけました。その他にもさまざまなレクを行いました。いくつか写真でご紹介します。
※新型コロナの感染予防になるべく密を避けて少人数で実施しています。

風船バレー



輪投げ



将棋



黒ひげ危機一髪ゲーム

